

平成21年度山梨県環境整備センターオオタカ保護連絡会議（2回目）の開催について

平成21年10月23日に「オオタカ保護連絡会議」を開催し、平成21年のモニタリング結果について報告し、平成22年のモニタリング計画について、御検討頂きました。

この連絡会議は、専門家の方々からの「オオタカ保護の提言」に基づき、モニタリングから得られた情報が速やかに猛禽類の専門家、地元自然保護団体、行政機関などに提供され、適切な対応を図られることを目的に、平成19年に設置されたものです。

【連絡会議への報告・検討結果】

平成21年のモニタリング調査は、事業団が行う現地調査に自然保護団体の皆さんも参加していただき、情報を共有する中で3月～7月の期間に実施しました。

4月の調査では、オオタカの営巣地がセンターの近傍に移動していることが確認されるとともに、搬入ルート沿いにも新たなオオタカの繁殖が確認されました。このためビデオを設置する等、センターの運営の影響について調査を行ないましたが、いずれのペアも5月中旬までに繁殖を中断してしまいました。

この時期には覆土、搬入車両及び見学者の制限を行っていたことから、事業による影響は確認されませんでした。

平成22年のモニタリング調査については、次の方針のもと実施していくことが決まりました。

- (1) センター周辺において繁殖状況をモニタリングする。
- (2) センター近傍にオオタカが営巣することを想定して、カメラ監視による繁殖状況のモニタリングを行う。
- (3) センター近傍とは異なる場所に営巣した場合は、事業との関係及びカメラ設置の可否を検討して判断する。
- (4) モニタリングにあたっては、極力人圧を掛けない調査方法を検討する。

また、来年度以降のオオタカ保護対策について、次のとおり実施していくことを確認しました。

- (1) オオタカが繁殖する可能性の高いエリア付近については、非繁殖期のうちに必要な作業を実施することにより、繁殖初期（3月末～5月）には立入禁止等の利用制限を行なう。
- (2) 繁殖地がセンター近傍である場合には、モニタリングの状況に応じて廃棄物の受け入れ調整や見学者の制限を行なう。

山梨県環境整備センターオオタカ保護連絡会議名簿

【委員】

中村 司	山梨大学名誉教授 日本野鳥の会甲府支部名誉会長
青木 進	山梨県猛禽類研究会会長
宮崎 紘	明野の野鳥を観る会会長
柴山 裕子	明野の自然を観る会代表
由井 秀樹	北杜市生活環境部環境課長
神津 孝正	山梨県森林環境部みどり自然課長
橋田 恭	山梨県森林環境部環境整備課長
石合 一仁	(財)山梨県環境整備事業団専務理事

(事務局) (財)山梨県環境整備事業団